

第16回 日本の次世代 リーダー養成塾

問い合わせ先: **日本の次世代リーダー養成塾**

専務理事・事務局長 加藤 暁子

(携帯: 090-1113-3914)

〒107-0062 東京都港区南青山5-12-28-403

Tel: 03-5466-0804 Fax: 03-5466-0842

塾期間中(7月26日~8月8日)の事務局連絡先は

福岡県宗像市グローバルアリーナのクラブハウス内

直通電話0940-38-8072/8073

FAX 0940-39-7001

宇宙飛行士の若田光一・JAXA 理事とマレーシアのマハティール首相が講義 「アジア・ハイスクール・サミット」で 地球規模で解決しないといけない課題を見つけ 宇宙でいかに解決するかを議論します

「日本の次世代リーダー養成塾」は、一般社団法人日本経済団体連合会の中西宏明会長を塾長に日本だけでなく、世界に通用するリーダーの育成を目指した高校生対象の2週間のサマースクールです。経済界や地方自治体がスクラムを組み、2004年に開塾、今年で16回目を迎えます。これまで巣立った卒塾生は2617人。日本や海外の大学や大学院に進学・留学した後に、社会人として、外交官、国家公務員、医師、教師、起業家、金融機関や商社、製造業、流通など日本を代表する企業の一員になったり、国際機関や、自ら世界各地でNGOを立ち上げて、社会のために貢献できる人財として、活躍しています。

【日本の高校生に加え、アジア6カ国から高校生が参加】

今年の塾開催期間は7月26日(金)から8月8日(木)で、福岡県宗像市のグローバルアリーナと佐賀県波戸岬少年自然の家で行います。参加者は、書類選考と面接で選抜された全国29都道府県・ベトナムから集う日本の高校生170人に加え、「アジア奨学生」として、6カ国(中国、マレーシア、モンゴル、タイ、韓国、ベトナム)から16人の高校生を無償で招待し、合計186人の高校生が2週間寝食を共にします。アジア奨学生招聘には、一般社団法人東京倶楽部から助成金をいただいています。

【一流講師の講義・グループディスカッション・民間企業の精鋭によるクラス担任制度】

塾では、日本や世界を代表する学者、経済人ら各界を代表する一流の講師が講義を行います。8月7日(水)午前9時から宇宙飛行士の若田光一・宇宙航空研究開発機構(JAXA)理事が「宇宙飛行とリーダーシップ」と題して講義し、昨年5月に92歳でマレーシア首相に返り咲いたマレーシアのマハティール・モハマド首相が「科学技術の発展が世界の平和にどう貢献するか」と題して講義します。この2人の講義は、宗像市在住の中・高校生100人に公開いたします。

期間中には、元国連事務次長の明石康・国立京都国際会館理事長、医師・作家の鎌田實・諏訪中央病院名誉院長、室伏きみ子・お茶の水大学長、滝久雄・株式会社ぐるなび会長、榊原英資・青山学院大学特別招聘教授ら26人の講師が全国の高校生に将来の指針を与えます。

講師の講義の後には30分間全体で質疑応答を行い、その後クラス別にディスカッションを行います。クラス担任は協賛企業から派遣された社会人が務めます。塾期間中には、キャリア教育の時間を社会人として経験を語っていただきます。また、卒塾生を中心とした大学生のボランティアが、塾生のサポートをします。塾生は、1部屋20人の2段ベッドによる共同生活を通して、自己管理能力を養います。

【アジア・ハイスクール・サミット】

リーダー塾では、2週間を通して、日本とアジアの高校生が本音で徹底的に議論して政策を打ち出す「アジア・ハイスクール・サミット」を毎年、開催しています。解決することが難しい社会課題に挑戦することで、やがて近い将来、リーダーとなったときにどう、課題に取り組み解決できるか、高校生のうちから経験するのが狙いです。



宇宙飛行士の若田光一・JAXA 理事が講義をすることから、「アジア・ハイスクール・サミット」では、JAXA とタイアップして、地球規模で起きている課題を洗い出し、宇宙という空間を使っていかに、その課題を解決できるのかを毎朝 1 時間半、2 週間かけて討議することとなりました。

地球規模で解決しないといけない課題は、気候変動、ごみ問題、公害、病気の克服、生態系の問題など、科学の分野を思い浮かべますが、紛争をどう解決できるかも視野に入れることもできます。宇宙飛行士たちは、イスラム教徒、キリスト教徒、仏教徒など様々な民族の人たちで構成され、宇宙ステーションで長期間、多様性を認め、共同生活をします。そこで、地球で起きている紛争解決の糸口を探ることもできます。

高校生たちは、文系、理系を問わず、固定観念を取り払い、自然科学、社会科学を問わず、様々な方面から地球規模の課題をみつけてどう解決できるかにチャレンジしていきます。

事前の課題として、塾本番前に、地球規模で解決しないといけない課題を塾生だけでなく、社会人 2 人に取材する宿題を課しています。

7 月 27 日（土）には、キックオフとして、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の川島興介・研究開発部門研究戦略部主事に「宇宙開発の動向と今後の社会課題への対応に向けて」と題して講義をしていただきます。その上で、クラスごとに、塾生が持ち寄った宿題をもとに、どの課題を解決していくかを討議していきます。

そして、8 月 6 日（火）午前 9 時から、グループごとの発表を行います。一番優秀だったグループの代表は、8 月 7 日（水）午前、若田光一氏とマハティール首相の前で発表すると同時に、11 月下旬に名古屋で開催の「アジア・太平洋地域宇宙機関会議」（APRSF）に登壇して、リーダー塾で討議した内容を発表します。

「アジア・ハイスクール・サミット」は、答えのない課題に挑戦することで、考える力を養います。今、教育界、経済界などは、小・中・高・大学教育で「考える力」をいかに養うかが求められています。2020 年度から導入される大学入試改革では、この「考えて解決する力」「創造性をどう養うか」が評価対象となります。今回のサミットでは、奇想天外な多くの案が出るのが期待されます。

【宗像大社見学】

8 月 4 日（日）は、2017 年 7 月に世界遺産登録が決定した「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の中心となる宗像大社辺津宮（総社）を見学し、日本古来の文化を守り伝えることの重要性、日本人として海や里、山の恵みに感謝し、環境を大切にすることを学びます。また、7 月 30 日（火）、宗像大社宮司の葦津敬之氏が「宗像の世界遺産への取り組みと環境問題」と題して講義します。

【日本と朝鮮半島の交流史と幕末の国際関係を学ぶ佐賀フィールドトリップ】

8 月 1 日（木）～ 4 日（日）は、日本と朝鮮半島の交流史、幕末の国際関係を学びます。今年は、佐賀県立名護屋城博物館と佐賀城本丸歴史館を見学します。

～佐賀県立佐賀城本丸歴史館を見学（8 月 1 日）～

佐賀県立佐賀城本丸歴史館では、日本の近代化に貢献した幕末から明治維新期の佐賀の輝かしい時代を検証し、変革の時代を生きた人々のエネルギーに触れます。とりわけ、幕末、第十代佐賀藩主鍋島直正（閑叟）は、長崎警備の任からアームストロング砲など西洋技術による製造を指揮し、

国内最先端の科学技術を取り入れたり、天然痘を根絶するためにオランダからワクチンを輸入するなど革新的な政策を行いました。また、教育改革を行い、多くの偉人を世に送り出しました。その姿を学びます。

同歴史館では、山口祥義・佐賀県知事が「世界で輝く佐賀～ふるさとを語れる自分に～」と題して講義します。その後、午後2時からアバンセ（佐賀県立男女共同参画センター・生涯学習センター）ホールで大阪学院大学の笠谷和比古教授が「幕末日本の国際条約と国際環境」と題して講義をします。

～佐賀県立名護屋城博物館を見学（8月2日）～

佐賀県立名護屋城博物館は、日本列島と朝鮮半島との長い交流の歴史をたどり、双方の交流・友好の推進拠点となることを目指して、豊臣秀吉が朝鮮出兵の際に拠点としたことで知られる肥前名護屋城跡に隣接する位置に1993年に開館しました。このため、双方で相いれない史実は、両論が併記されています。塾では、浦川和也・同博物館副館長に「佐賀県立名護屋城博物館の建設と開館26年の歩み—エスノセントリズムを超えて—」と題して講義していただいた上で、日本と朝鮮半島のこれまでの歴史に関する貴重な資料が展示された展示室を見学することで、日本と朝鮮半島がどのような歴史を歩んできたのかを学び、今後の平和のあり方について考えます。また、実際に名護屋城跡を見学し、タブレット端末により当時の名護屋城の様子を再現できる「バーチャル名護屋城」を体験します。

関連したテーマの講師として、同博物館で、太平洋戦争末期に日本で初めて保育園を疎開させることに挑んだ保母たちの実話をもとにした映画「あの日のオルガン」を鑑賞し、映画プロデューサーの李鳳宇氏が「映画で日本の将来を考えよう」と題して講義します。また、8月3日（土）には、薩摩焼十五代沈壽官氏が、佐賀県波戸岬少年自然の家で、「伝統を守り現代を表現する」と題して講義します。

【宗像の食材でみそ汁コンテスト】

7月30日（火）に宗像の食材を使った「みそ汁コンテスト」を開催します。このプロジェクトは、1861年に創業した大分県臼杵市に本社があるフドーキン醤油株式会社のご協賛の一環として行います。みそ汁は日本人の食卓には欠かせないソウルフード。北から南まで全国各地で味噌の種類やからさ、だしの取り方など千差万別。宗像の食材を使ってクラス対抗で、みそ汁づくりに挑戦します。みそ汁コンテストの前には、小手川強二社長が「発酵食品が繋ぐ国際化」と題して講義します。同社は、大分県別府市の立命館アジア太平洋大学（APU）の学生と「はちみつ醤油ハラール」を共同開発しました。

【マレーシア次世代リーダー養成塾が今年5月誕生】

マハティール首相は、昨年のリーダー塾で「マレーシアや世界の国々で次世代のリーダーを育成するリーダー塾の設立が必要だ」と述べ、帰国後の閣議で「マレーシア次世代リーダー養成塾」（MFLS）の設立を提案、予算化され、今年5月に設立セレモニーが行われました。

MFLSは、青年スポーツ省が所管し、2000校30万人の高校生から3万5000人が書類選考で選ばれ、2次選考でマレー人、中国人、インド人が一緒に150人ずつ9泊10日の合宿を州ごとに行い、秋には、その中から最も優秀だった200人が選出されます。

その後、1年間かけて①政治・政策②経済・企業③ボランティア・国際協力に分かれて徹底的にリーダーシップ研修が行われます。

この塾を企画・運営する青年スポーツ省のサイド・サディック大臣は26歳。マレーシア史上最年少の大臣として、昨年任命されました。

今後、日本の次世代リーダー養成塾とコラボして、東南アジアにも同じような塾を広げ、サミットの開催などを行っていくことも視野に入れます。

(連絡先)

○ 塾期間中(7月26日～8月8日)の事務局連絡先

福岡県宗像市グローバルアリーナのクラブハウス内直通電話0940-38-8072/8073

FAX 0940-39-7001

○ 上記期間以外の事務局連絡先:03-5466-0804 FAX 03-5466-0842

○ 日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長の加藤 暁子の携帯番号は、
090-1113-3914です。

【添付資料】

1. 事業概要
2. 講師一覧
3. カリキュラム表
4. 塾生概要
5. 塾生学校一覧
6. アジア奨学生概要
7. 役員等名簿

第16回日本の次世代リーダー養成塾 事業概要

1 主催者

日本の次世代リーダー養成塾

塾長：中西宏明／一般社団法人日本経済団体連合会会長

参画自治体：北海道 青森県 岩手県 静岡県 岐阜県 和歌山県 愛媛県 福岡県
佐賀県 福岡県宗像市 沖縄県うるま市

2 開催日程

2019年7月26日（金）～8月8日（木）

3 開催・宿泊施設

グローバルアリーナ（福岡県宗像市吉留46-1）

波戸岬少年自然の家（佐賀県唐津市鎮西町名護屋5581-1）

※自然の家は8月1日（木）～8月4日（日）の3泊4日で宿泊

4 塾生

対象：高校生（1年生～3年生） 186名

内 訳	参画県推薦枠 (北海道、青森県、岩手県、静岡県、岐阜県、和歌山県、愛媛県、 福岡県、佐賀県、福岡県宗像市、沖縄県うるま市)	115名
	全国からの一般公募枠	55名
	アジア奨学生	16名 [非公募]

5 カリキュラム概要

① 各界を代表する講師陣による講義

- **教養系**（哲学、近現代経済・文明史、医学、科学、芸術など）
日本や世界を代表する講師が高校生に知的好奇心を湧かせる講義をします。
- **ビジネス系**（日本企業の強みと弱み、ビジネスのしくみなど）
世界を相手にビジネスの最先端で日夜活躍する講師が、日本の企業の強みや弱み、ひいては日本の国のあり方を伝えます。
- **国際系**（国際問題や外交、国連やNGO活動への理解）
世界に目を向け、日本人としてのアイデンティティを持ち、国際舞台で活躍できる力をつけます。
- **人間学**（将来の夢をどう具現化するか、リーダーとしての生き方など）
人生の先達が21世紀の日本を背負って立つ人材に必要なことは何かを語ります。

② 講義後のディスカッション

講義終了後にクラス担任の指導のもと、1クラス約20名余りによるグループディスカッションを行います。クラス担任は、日本を代表する企業の中堅社員が務めます。

③ プロジェクト型企画「アジア・ハイスクール・サミット」

日本人とアジア各国の高校生が、2週間を通して社会課題の解決に向けた議論を行い、具体案を提言する「アジア・ハイスクール・サミット」を開催します。

④ フィールドトリップ

福岡県では世界遺産である宗像大社を見学します。佐賀県では佐賀県立佐賀城本丸歴史館にて、幕末・維新时期に日本で当時最先端であった佐賀藩の科学技術や、佐賀が輩出した偉人などについて学びます。また、佐賀県立名護屋城博物館にて、日本列島と朝鮮半島間の歴史を当時の貴重な資料や遺産を見学し、学びます。

第16回日本の次世代リーダー養成塾講師（敬称略、五十音順）

1. 明石 康 / 元国連事務次長、公益財団法人国立京都国際会館理事長
2. 葦津 敬之 / 宗像大社宮司
3. 麻生 渡 / 元全国知事会会長、福岡工業大学最高顧問
4. 荒井 保明 / 国立がん研究センター理事長特任補佐
5. 上田 紀行 / 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院長・教授
6. 浦川 和也 / 佐賀県立名護屋城博物館副館長
7. 小川 洋 / 福岡県知事
8. 笠谷 和比古 / 大阪学院大学法学部教授
9. 鎌田 實 / 諏訪中央病院名誉院長
10. 川勝 平太 / 静岡県知事
11. 川島 興介 / 宇宙航空研究開発機構（JAXA）研究開発部門研究戦略部主事
12. 河西 秀哉 / 名古屋大学大学院人文学研究科准教授
13. 小手川 強二 / フンドーキン醤油株式会社代表取締役社長
14. 榊原 英資 / 青山学院大学特別招聘教授
15. 佐々木久美子 / 株式会社グルーヴノーツ代表取締役会長
16. 滝 久雄 / 株式会社ぐるなび取締役会長・創業者、株式会社NKB取締役会長 創業者
17. 沈 壽官 / 薩摩焼15代
18. 西川 恵 / 毎日新聞客員編集委員
19. マハティール・モハマド / マレーシア首相
20. 室伏 きみ子 / お茶の水女子大学長
21. 矢野 弘典 / 公益財団法人産業雇用安定センター会長、横綱審議委員会委員長、
一般社団法人ふじのくにづくり支援センター理事長
22. 矢原 徹一 / 九州大学大学院理学研究院教授、持続可能な社会のための決断科学センター長
23. 山口 祥義 / 佐賀県知事
24. 李 鳳宇 / 映画プロデューサー、マンシーズエンターテイメント代表、
立命館大学映像学部客員教授、日本大学芸術学部映画学科講師
25. 若田 光一 / 宇宙航空研究開発機構（JAXA）理事・宇宙飛行士
26. 加藤 暁子 / 日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長、
公益財団法人AFS日本協会理事長

第16回日本の次世代リーダー養成塾 塾生概要

塾生総数 170名(男子63名・女子107名) 29都道府県1ヶ国(ベトナム)

○参画県推薦枠 115名(男子39名・女子76名)

合格予定者数			
1	北海道	11名	(男子 2名) (女子 9名)
2	青森県	11名	(男子 3名) (女子 8名)
3	岩手県	11名	(男子 2名) (女子 9名)
4	静岡県	9名	(男子 4名) (女子 5名)
5	岐阜県	11名	(男子 4名) (女子 7名)
6	和歌山県	11名	(男子 5名) (女子 6名)
7	愛媛県	11名	(男子 4名) (女子 7名)
8	福岡県	21名	(男子 8名) (女子 13名)
9	宗像市	3名	(男子 0名) (女子 3名)
10	佐賀県	14名	(男子 7名) (女子 7名)
11	うるま市	2名	(男子 0名) (女子 2名)
計		115名	(男子 39名) (女子 76名)

○一般公募枠 55名(男子24名・女子31名)

合格予定者数			
1	群馬県	1名	(男子 0名) (女子 1名)
2	埼玉県	3名	(男子 3名) (女子 0名)
3	千葉県	1名	(男子 1名) (女子 0名)
4	東京都	9名	(男子 4名) (女子 5名)
5	神奈川県	2名	(男子 1名) (女子 1名)
6	山梨県	1名	(男子 0名) (女子 1名)
7	長野県	1名	(男子 0名) (女子 1名)
8	静岡県	3名	(男子 0名) (女子 3名)
9	愛知県	6名	(男子 5名) (女子 1名)
10	京都府	1名	(男子 0名) (女子 1名)
11	大阪府	1名	(男子 1名) (女子 0名)
12	兵庫県	2名	(男子 1名) (女子 1名)
13	奈良県	1名	(男子 0名) (女子 1名)
14	和歌山県	2名	(男子 2名) (女子 0名)
15	広島県	2名	(男子 1名) (女子 1名)
16	香川県	3名	(男子 2名) (女子 1名)
17	山口県	1名	(男子 0名) (女子 1名)
18	福岡県	6名	(男子 1名) (女子 5名)
19	佐賀県	1名	(男子 1名) (女子 0名)
20	長崎県	1名	(男子 0名) (女子 1名)
21	熊本県	4名	(男子 0名) (女子 4名)
22	大分県	1名	(男子 0名) (女子 1名)
23	宮崎県	1名	(男子 1名) (女子 0名)
24	ベトナム	1名	(男子 0名) (女子 1名)
計		55名	(男子 24名) (女子 31名)

第16回日本の次世代リーダー養成塾 塾生学校一覧

29都道府県 1ヶ国(ベトナム)、124校

学校所在地	学校名
北海道	私立遺愛女子高等学校
	私立札幌新陽高等学校
	北海道札幌東商業高等学校
	北海道登別明日中等教育学校
	私立北海高等学校
青森県	私立青森明の星高等学校
	私立八戸聖ウルスラ学院高等学校
	青森県立三本木高等学校
	私立八戸工業大学第二高等学校
	青森県立八戸高等学校
岩手県	岩手県立一関第一高等学校
	岩手県立岩泉高等学校
	岩手県立黒沢尻北高等学校
	岩手県立釜石高等学校
	岩手県立高田高等学校
	岩手県立遠野高等学校
	岩手県立花巻高等学校
群馬県	私立共愛学園高等学校
埼玉県	私立開智未来中学・高等学校
	埼玉県立不動岡高等学校
	私立早稲田大学本庄高等学院
千葉県	私立市川高等学校
東京都	国立東京学芸大学附属国際中等教育学校
	私立昭和女子大学付属昭和高等学校
	私立中央大学杉並高等学校
	私立広尾学園高等学校
	私立文化学園大学杉並高等学校
	私立武蔵高等学校
	私立明治大学付属中野高等学校
	私立明治大学付属明治高等学校
	神奈川県
私立慶應義塾湘南藤沢高等部	
山梨県	山梨県立甲府南高等学校
長野県	長野県立松本県ヶ丘高等学校
静岡県	静岡県立沼津東高等学校
	静岡県立韮山高等学校
	私立浜松学芸高等学校
	静岡県立静岡高等学校
	静岡県立清水東高等学校
	静岡県立浜松西高等学校
	静岡市立高等学校
	静岡県立清水南高等学校
	私立静岡学園高等学校
	私立常葉大学附属菊川高等学校
	私立常葉大学附属橘高等学校
	私立不二聖心女子学院高等学校
	岐阜県
岐阜県立中津高等学校	
私立岐阜東高等学校	
岐阜県立多治見北高等学校	
岐阜県立加納高等学校	
岐阜県立大垣桜高等学校	
岐阜県立岐阜北高等学校	
岐阜県立本巣松陽高等学校	
私立鶯谷高等学校	
岐阜県立可児高等学校	
愛知県	私立海陽中等教育学校高等部
	私立名古屋学院名古屋高等学校
	私立名古屋国際高等学校

学校所在地	学校名
京都府	私立京都学園高等学校
大阪府	私立関西学院千里国際高等部
兵庫県	私立賢明女子学院高等学校
	私立三田学園高等学校
奈良県	私立西大和学園高等学校
	和歌山県立橋本高等学校
和歌山県	私立和歌山信愛高等学校
	私立近畿大学附属和歌山高等学校
	私立智辯学園和歌山高等学校
	私立開智高等学校
広島県	広島県立呉三津田高等学校
	広島県立加茂北高等学校
山口県	私立梅光学院高等学校
香川県	私立香川誠陵高等学校
	私立大手前高松中学・高等学校
愛媛県	愛媛県立松山東高等学校
	愛媛県立今治西高等学校
	愛媛県立宇和島南中等教育学校
	愛媛県立三崎高等学校
	愛媛県立松山北高等学校
	愛媛県立野村高等学校
福岡県	愛媛県立宇和島東高等学校
	愛媛県立八幡浜高等学校
	私立明光学園高等学校
	福岡県立筑紫丘高等学校
	福岡県立香椎高等学校
	福岡県立明善高等学校
	私立福岡工業大学附属城東高等学校
	福岡県立育徳館高等学校
	福岡県立城南高等学校
	福岡県立嘉穂高等学校
	福岡県立博多青松高等学校
	私立中村学園女子高等学校
	福岡県立山門高等学校
	私立リンデンホールスクール中高等学校部
	私立福岡大学附属若葉高等学校
	福岡県立玄洋高等学校
	福岡県立小倉工業高等学校
福岡県立早良高等学校	
福岡県立宗像高等学校	
佐賀県	私立東海大学付属福岡高等学校
	福岡県立輝翔館中等教育学校
	福岡県立久留米高等学校
	私立西南学院中学校・高等学校
	福岡県立福岡高等学校
	私立福岡雙葉高等学校
	国立唐津海上技術学校
	佐賀県立唐津東高等学校
佐賀県立佐賀北高等学校	
長崎県	佐賀県立武雄高等学校
	佐賀県立多久高等学校
熊本県	佐賀県立佐賀西高等学校
	私立早稲田佐賀高等学校
大分県	長崎県立佐世保南高等学校
	熊本県立八代高等学校
宮崎県	私立九州学院高等学校
	熊本県立宇土高等学校
沖縄県	大分県立大分豊府高等学校
	宮崎県立宮崎大宮高等学校
ベトナム	沖縄県立与勝高等学校
	沖縄県立球陽高等学校
ベトナム	Concordia International School Hanoi

第16回日本の次世代リーダー養成塾 アジア奨学生概要

○奨学生総数16名（男:6名 女10名）

1	中国	3名	(男子 0名)	(女子 3名)
2	マレーシア	4名	(男子 2名)	(女子 2名)
3	モンゴル	2名	(男子 2名)	(女子 0名)
4	韓国	3名	(男子 2名)	(女子 1名)
5	タイ	2名	(男子 0名)	(女子 2名)
6	ベトナム	2名	(男子 0名)	(女子 2名)

○奨学生学校一覧(6ヶ国 11校)

中国	成都外国語学校
	石家庄外国語学校
	東北育才学校高等部
マレーシア	帝京マレーシア日本語学院
モンゴル	新モンゴル小中高一貫学校
韓国	釜山國際外國語高等學校
	智山高等学校
	ソウルムンヒョン高等學校
タイ	Siyanuson School
	Kaeng Khoi School
ベトナム	Foreign Languages Specialized School

主催者からのメッセージ

中西 宏明 塾長（一般社団法人 日本経済団体連合会 会長）



この数年で世界情勢は大きく変化しました。各国のパワーバランスの変化により旧来の国際秩序がゆらぎ、反グローバリズムやポピュリズムの台頭といった新たな時代に直面しています。一方、テクノロジーの分野ではAIなどを駆使したデジタル化による新たな産業革命（第4次産業革命）が、産業・医療・交通など社会のあらゆる分野で進行中です。社会課題の解決と経済的な発展を両立する「Society 5.0」という全く新しい社会が到来しつつあります。

今、私たちがやらなければいけないことは、多様性を受容できる、豊かで活力ある日本をつくりあげることです。国際協調を大切にしつつ、「モノからコト」「所有から利用」に代表される社会の変化の中で、新たな価値を創造しなくてはならないのです。そのためには多くのイノベーションが必要であり、若い世代の新しい発想と推進力を必要としています。皆さんには、文系・理系といった区分けをしないで、人とのコミュニケーションを大切にグローバルな視点でよく学び、新たな社会の実現に貢献していただきたいと思っております。

本塾では、仲間たちと切磋琢磨し、視野を広げ、様々な課題に真正面から取り組むことで、お互いの立場や考え方の違いに気付き、それを乗り越える知恵を養ってください。また、お互いのアイデンティティを尊重しつつ、いつでも誰でもリーダーに成り得ることを学び、実践してほしいと思います。本塾での経験が、皆さんの未来を切り拓く力になることを期待しています。

「日本の次世代リーダー養成塾」役員等名簿

（五十音順）

塾長	中西 宏明／一般社団法人日本経済団体連合会会長
塾長代理	榊原 英資／青山学院大学特別招聘教授
筆頭理事	小川 洋／福岡県知事
理事	浅野 史郎／神奈川大学特別招聘教授
理事 （顧問兼務）	麻生 渡／元全国知事会会長・学校法人福岡工業大学最高顧問
理事	石原 進／九州旅客鉄道株式会社相談役
理事	伊豆 美沙子／福岡県宗像市長
理事	川勝 平太／静岡県知事
理事	小島 順彦／三菱商事株式会社相談役
理事	鈴木 直道／北海道知事
理事	高橋 温／三井住友信託銀行株式会社特別顧問
理事	滝 久雄／株式会社ぐるなび取締役会長・創業者 株式会社NKB取締役会長 創業者
理事	達増 拓也／岩手県知事
理事	張 富士夫／トヨタ自動車株式会社相談役
理事	中村 時広／愛媛県知事
理事	仁坂 吉伸／和歌山県知事
理事	橋田 紘一／特定非営利活動法人九州・アジア経営塾理事長兼塾長
理事	古田 肇／岐阜県知事
理事	松尾 新吾／九州電力株式会社特別顧問
理事	溝上 泰弘／株式会社ミズホールディングス代表取締役会長
理事	三村 申吾／青森県知事
理事	宗政 寛／株式会社サニックス代表取締役社長
理事	山口 祥義／佐賀県知事
専務理事 （事務局長兼務）	加藤 暁子
監事	遠藤 泰昭／九州電力株式会社上席執行役員